

(別添資料1)

事業所名

アマカラ研究室

支援プログラム

作成目

令和

7 年

3月

1 日

法人（事業所）理念		アマカラ研究室は子どもたちの「遊び・学び・体」の成長をサポートすることをテーマにしています。										
支援方針		同じ空間、同じ時間を共有し、伸び伸びと過ごす中で子ども達の発達段階と課題を把握し、子どもらがより楽しく、ほがらかに暮らせることを目指した支援を行っています。										
営業時間		10	時	00	分から	19	時	00	分まで	送迎実施の有無	あり	なし
		支 援 内 容										
本人支援	健康・生活	栄養バランスの良い食事や適度な運動、十分な睡眠や休息などのバランスを考え、本人が健やかな状態で過ごせるように必要な支援を行います。										
	運動・感覚	一緒に遊ぶ中で本人の運動能力や身体感覚が楽しみながら向上するように支援していきます。										
	認知・行動	子どもの行動・特性についてよく観察し理解した上で、適切な認知と適切な行動の習得を目指し、得意な感覚や認知機能を活かして支援していきます。										
	言語 コミュニケーション	日常的な言語コミュニケーションのなかで必要性を感じた分野においては、場面設定や課題設定を行い、より円滑にコミュニケーションがとれるよう支援していきます。										
	人間関係 社会性	ひとりひとりの個性や考えを大切にしつつも、その個性を保ったまま集団の中で生きていく社会性が身につくよう、個別・集団活動を組み合わせて支援していきます。										
家族支援		・ 本人が自分で考えたり選んだりすることができるような関わり方を提案していきます。 ・ 具体的な選択肢を見せつつ活動を提案していきます。 ・ 気になったことは帰りの送迎時や面談の際に共有いたします。						移行支援		・ 必要に応じて学校を訪問し、情報共有や具体的な関わり方のモデルを示します。 ・ 学校での引き渡し時にその日の様子や頑張ったこと、気になったことを聞き取って支援に生かしていきます。		
地域支援・地域連携		・ 学校や教育機関、民間のスポーツ、芸術などの団体と連携し、障害の有無に関わらず楽しめるような地域に開いた活動を行います。						職員の質の向上		・ 経験や職種に応じた研修を外部講師を招くなどして行い、スキルアップの機会をつくっていきます		
主な行事等		・ 音楽イベントやワークショップなどの機会を作り、多様な人々に関わってもらえるような行事を行います。										